

調達管理番号・案件名

25a00885\_東南アジアメコン河流域カスケードダム運用・操作の衛星データ活用と気候変動適応策に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年2月27日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項	プロポーザルの「業務実施の方針・方法」の部分では適切な参考文献を明記することを求めているが、どのような形(参考文献欄を設けるのか、フッターを利用して良いのか)で表記をすることが推奨されるか？また、この参考文献の列挙は「業務実施の方針・方法」のページ制限(15ページ以内)に含まれるか？	「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」のP.4にありますとおり、他の文献等の内容を引用した場合には、その出典・引用元を明らかにし別紙にとりまとめてください。出典・引用元を記載した別紙については、記載分量のカウントの対象外とします。
2	17	2)初動データ収集(第1回現地渡航)	本案件において取得した現地観測データは提供機関の許可を得られた場合に他のプロジェクト(非商用)や会社のサービス(商用)に利用することはできるか？	データの提供機関との協議によるものと考えます。ただし、日本政府の政府開発援助(ODA)の一貫として実施される本調査と、特定の企業による商用目的の利用が、相手国関係者に混同されることは好ましくなく、また、本調査以外の目的への利用について併せて説明した場合に、相手国の提供機関が本調査への協力も拒むような事態も好ましくありません。中立性に十分な配慮が必要となります。
3	17	1)初動準備・調査計画作成 & 2)初動データ収集	JICAから現地データ・情報の取得にあたり適切な関係機関への連絡・連携のサポートは受けられるか？	JICAが関係を有している組織に関しては、窓口となっている方や連絡先などをご紹介することは可能です。
4	20	13)最終報告書の作成	本案件の成果は、JICAおよび関係機関の許可が得られた場合に国内外の研究学会や学術雑誌にて発表することは可能か？	前もって許可を得ていただければ、可能です。
5	23	(3)業務従事予定者の経験、能力	業務従事予定者が非英語圏の海外大学院に留学し英語プログラムを修了して学位を取得した場合は、英語の語学能力の評価の対象となり得るか？	非英語圏への留学については、プログラムの詳細をその都度確認できないため、語学力の評価対象には含めません。もし、当該業務従事者が語学に関する資格を有している場合は、その資格について申告してください。

以上